



平和でこそ、子どもを大切にできる

(文責 加藤)

平和で安心した環境で子どもを育てたい。誰もが願うことなのに、今もまだ戦争や紛争が世界のあちこちで起きています。ウクライナやパレスチナ・ガザ地区を始めとして、ニュースで毎日のように罪のない人々（そして子どもたち！）が爆撃によって被害をうけている映像を目にします。

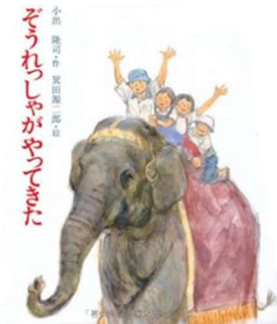
私たちは保育の柱として、「違いを認め合う」「話し合いで解決する」ことを大事にしています。みかんの家の子どもたちにも、暴力（抑止力）に頼らず、話し合いで解決ができる大人に育てて欲しい。自分の気持ちをしっかり聞いてもらいながら育った人は「他人を信頼し、大切にすること」ができるようになると信じて保育をしています。

今年は戦後80年を迎えます。この節目の年に何もしないのはもったいない！と、みんなの森福祉会の3つ保育園（まつのき・どんぐり・くすのき）では、一緒に平和の取り組みをすることにしました。

子ども（幼児）は「ぞう列車よはしれ※」、大人（職員）は「青い空は※」をそれぞれ歌い、3園の歌を動画編集して1曲にまとめました。8月4日から1週間、夕方にまつのき事務室前で動画を流しますので、みかんの家の方もお迎えの時に寄っていただき親子で鑑賞下さいね。

※「ぞう列車よはしれ」の歌は、戦時中に動物たちが次々と殺される中、名古屋・東山動物園では2頭のゾウを守り抜きました。戦争が終わったあと、「本物のゾウが見たい！」という子どもたちの願いを叶えるために特別仕立ての「ぞうれっしゃ」が全国各地から名古屋へと向かって走った実話の歌です。

※「青い空は」の歌は、原爆のきのこ雲がもう二度と現れないよう、平和で青いままの空を子どもたちに伝えたい気持ちを込めた歌です。



【夏の遊び・夏野菜クッキング】

(文責 西尾)



プールやタライなどでの水遊びはもちろん、泡や小麦粉・絵の具・寒天などの感触あそびも行っています。興味津々な子、好奇心旺盛な子、最初は緊張する子など子ども達の反応は様々ですが、個々のペースで遊びを楽しめるようにしています。最初は小麦粉や寒天に触れなかった子も少しずつ慣れ、何回か繰り返し行うことで、友だちや保育者と楽しむ姿も見られますよ。泡や絵の具では、ダイナミックに顔や髪の毛を洗う子、体中絵の具だらけの子もいて、子ども達の大胆さに思わず笑ってしまうことも（笑）

また、みかんの畑できゅうりとナスを育てていますが、今年も豊作でたくさんクッキングをしています。子どもたちも“自分たちが育てたもの”ということが分かるようで、その野菜と一緒にクッキングすることで、普段は給食の野菜を残してしまう子も進んで食べる姿が見られます。子どもたちはクッキングが大好きなので、お休みの日などにお家で一緒にクッキングをやってみるのもいいかもしれません♪

毎日暑い日が続いていますが、水分補給をこまめにしながら夏の遊びを楽しみたいと思います。